（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるの家			
○保護者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年2月28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	25名	（回答者数）	16名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年2月28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11名	（回答者数）	11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母体が訪問看護ステーションであることから、こどもの特性に応じた支援を連携して行うことができる。	連絡帳や訪問スタッフからの情報も踏まえて、状態確認や発達支援を行っている。担当者会議に積極的に参加している。	看護スタッフ、リハスタッフとカンファレンスを開き支援の方向性を検討する。 担当者会議等を通して、関係機関と情報共有を行う。
2	移転したことで、より安全に活動できる環境が整えられ、活動の幅の広がりが期待できる。	プログラムへの参加についてスタッフ間で検討し、状況によりプレイマットで仕切る等、環境調整している。 手薄にならないようスタッフの人数を調整している。	利用者の特性に応じた活動が提供できるようプラグラムの検討と研修参加により知識を深める。
3	地域の事業所（保育園）と連携が出来ている。	自立支援協議会に参加し、事業所について知ってもらう機会としている。	地域に開かれた事業所として見学会等開催する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修会や保護者会の開催は出来ていない。	法人全体で年に1回、秋祭りを実子しているが、参加が難しいご利用者もおり、通所としての保護者会は開催していない。	保護者会、研修会に対するニーズの把握をし、それに応じた支援の検討を行う。
2	災害時や事故発生時のマニュアルを整備しているが、保護者への周知が不足している。	訓練実施はしているが、実施状況の報告が足りない。	公式LINEで通知する等、保護者会に訓練状況が周知できるよう工夫する。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	はるの家

公表日　2026年3月16日

利用児童数　16名　回収数　10名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			1		
	2	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1		1	・丁寧に対応して頂き有難いです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	9			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		1	4		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2		2		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	9			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			2	・特に事故はないですが、大丈夫だと感じています。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・はるさんのような施設が増えてくれたら嬉しい。 ・いつも安心して利用できる環境を整えてもらいありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。 ・利用時間をもう少し長くしてほしい、利用者の消耗品(おむつお尻拭きなど)を保管してほしい。使用済みオムツなどは事業所で破棄してほしい。連絡帳や実績表や利用希望予定表などアプリにしてほしい。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	はるの家

公表日　2026年3月16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10	1		・日によって足りないと感じることがある。 ・時によりマンパワーがギリギリと感じる時があり、事前に分かっていればスタッフ数調整も要すると思う時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	5	・パーテーション・カーテンで仕切る工夫をしている。 ・部屋は一つしかないが、区切ったり、外と中で活動を分けたりはしている。 ・マットで仕切ればできる。 個別の部屋がないため、パーテーション・カーテンで工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	・書面や口頭により報告されている。	・全職種で共有できているか、しようとしているかは判断に悩む。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7	・来訪者の意見を参考に業務を見直している。	・外部評価を受ける機会をつくる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	3		・知識、経験を出し合って、1つの方向、統一した介入がとれているのか。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	9	2		・知識、経験を出し合って、2つの方向、統一した介入がとれているのか。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	7	・ツールはないが、アセスメントは行っている。 ・不明な時は他スタッフに確認しながら行っていると思う。	・ツールを用いてない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	2		

切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	2	・季節イベントはチームで協力されている。 ・1ヵ月毎に計画されている。 ・保育士と相談しながら行っていると思われる。	・日常の関りが個々に依存してしまう。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2	・イベント毎に同じにならないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	・状況により、日程変更しながら行っていると思われる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	6	・打ち合わせの時間は設けてはいないが、適宜相談し、連携して支援を行っている。	・情報共有時間を始業前にしたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7	4	・必ず行っているわけではないが、適宜振り返りを行い、次の支援に繋げている。 ・トピックがある時はしている。	・個別性が高い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	3	・記録を読み返して、把握に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	3		・会話の中ではあるが、分からない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	・決めつけるのではなく、アイコンタクトなでの自己決定を援助している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	5	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	・秋祭りなど、イベント時に活動していると思われる。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	7		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	11	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・タイムリーに対応されていると思う。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	7	・保護者会は開催していないが、イベント開催時、家族間で交流できる機会を設け、家族同士で交流できるよう支援している。	・父母会なし。 ・秋祭りで家族同士で会える機会はあるが、保護者会の実施はしていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8		・地域と交流は図っているが事業所行事に児招待はしていない。 ・地域住民の施設見学はあったが、行事参加については把握できていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	・マニュアルがあり、訓練を行っている。	・家族に周知されていないマニュアルがある。 ・家族への周知が不足しているのか。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	3	・医師の指示書はないが、契約時にアレルギーの有無を確認し対応している。	・対象がいなかった。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	10	1		・家族への周知が出来ているか不明。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	・カンファレンスにて事故報告あり。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	2		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1		